



体育参観日・竜王中学校区4校ミニ交流会（松原分校、赤崎小学校、本山小学校、竜王中学校）

絶好の秋晴れの下、松原分校の体育参観日と竜王中学校区3小中学校の特別支援学級の子どもたちとの交流会が、松原分校で実施されました。松原分校の生徒がきれいに整備したグラウンドで、児童生徒の代表が「いろいろな競技を通して仲よくなりましょう」とあいさつした後、徒競走や玉入れ、応援合戦などを一緒に行いました。綱引きでは、参観者の「よいしょ」の声援を受けて全員が力いっぱい綱を引っ張り、観覧席から大きな拍手が送られました。29名の子どもたちの仲が深まり心温まる交流会になりました。



市児童生徒科学作品展（山口東京理科大学）

市小中学校教育研究会主催の科学作品展が山口東京理科大学で開催され、多くの子どもたちや保護者などが来場しました。市内の小中学校から応募があった1300点余りの作品の中から選ばれた約150点の作品が展示され、いずれも子どもたちのなぜ？不思議だな？という知的好奇心をくすぐり、科学に対する興味・関心が高められる作品ばかりでした。来場者は、冊子を見たり作品に触れたりしながらじっくりと見て回っていました。なお、受賞した12の作品は県立山口博物館で開催されるサイエンスやまぐちで展示されます。



1年生が地域の方や保護者と座談会（高千帆中学校）

高千帆中学校の1年生が、地域探究学習の一環として地域の大人と『ふるさと高千帆のよさを語る会』を実施しました。生徒が調べたことをもとに、地域の自然や公共施設、住みやすさなどの観点から、よさや課題等について意見を交流し合いました。生徒からは、仲よくしゃべれて楽しかった、もっと時間がほしかった、地域の方からは、気づかなかったことを生徒から教えられてなるほどと思った、などの感想が聞かれました。この活動を通して、生徒の地域を見る見方や意識が広がったり深まったりする学習になりました。

